

NEC Express5800シリーズ

**N8404-005**

**テープブレード AT101b**  
**ユーザーズガイド**

## 商標について

EXPRESSBUILDERとESMPRO、EXPRESSSCOPEは日本電気株式会社の登録商標です。Microsoft、Windows、Windows Serverは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。Intel、インテル、Intel ロゴは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporation の商標です。LSIとLSIロゴは米国LSI Corporation.の登録商標または商標です。Linux® は、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における商標または登録商標です。LTOはHewlett-Packard CompanyおよびSeagate Technologyの米国における商標です。その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows Server 2008 R2は、Windows Server® 2008 R2 Standard operating systemおよびWindows Server® 2008 R2 Enterprise operating system の略です。

Windows Server 2008はWindows Server® 2008 Standard operating systemおよびWindows Server® 2008 Enterprise operating systemの略です。

Windows Server 2003 x64 EditionsはWindows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition operating system および Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition operating systemまたはWindows Server® 2003, Standard x64 Edition operating systemおよびWindows Server® 2003, Enterprise x64 Edition operating systemの略です。

Windows Server 2003は Windows Server® 2003 R2 Standard Edition operating systemおよび Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition operating systemまたはWindows Server® 2003 Standard Edition operating systemおよびWindows Server® 2003 Enterprise Edition operating systemの略です。

Windows 2000はWindows® 2000 Server operating system およびWindows® 2000 Advanced Server operating system、Windows® 2000 Professional operating systemの略称です。

Windows 7 はWindows® 7 Professional operating systemの略称です。

Windows Vista はWindows Vista® Business operating systemの略称です。

Windows XP x64 EditionはWindows® XP Professional x64 Edition operating systemの略称です。

Windows XPは Windows® XP Professional operating systemおよびWindows® XP Home Edition operating systemの略称です。

Windows PEはWindows® Preinstallation Environmentの略称です。

このユーザーズガイドは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

## ⚠ 使用上のご注意(必ずお読みください)

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。  
また、本文中の名称については「各部の名称と機能」の項をご参照ください。

### 安全にかかわる表示について

本製品を安全にお使いいただくために、このユーザーズガイドの指示に従って操作してください。

このユーザーズガイドには本機のどこが危険か、どのような危険に遭うおそれがあるか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、本機内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています（本体に印刷されている場合もあります）。

ユーザーズガイド、および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。



**警告**

人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。



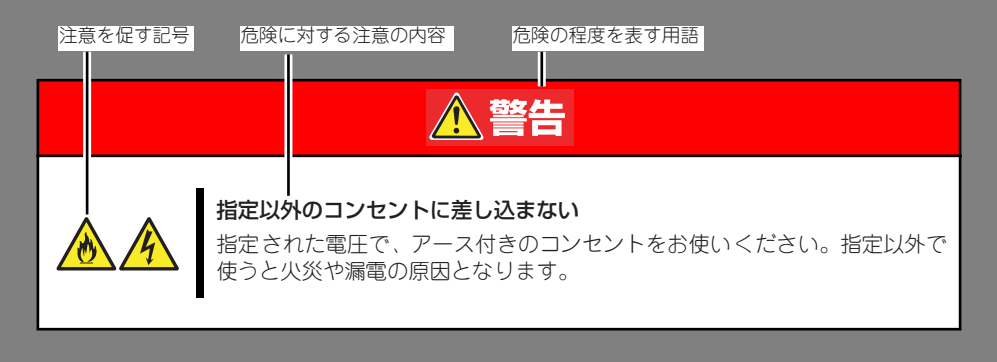
**注意**

火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例)  (感電注意)
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例)  (分解禁止)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例)  (プラグを抜く)

(ユーザーズガイドでの表示例)



本書と警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	感電のおそれのあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	指がはさまれてけがをするおそれがあることを示します。		レーザー光による失明のおそれがあることを示します。
	けがをするおそれがあることを示します。		爆発や破裂による傷害を負うおそれがあることを示します。
	高温による傷害を負うおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の禁止

	本機を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。
	火気に近づけないでください。発火するおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。感電や火傷などの傷害のおそれがあります。		特定しない一般的な禁止を示します。

行為の強制

	本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
	必ず接地してください。感電や火災のおそれがあります。		

## 安全上のご注意

本機を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明についてはiiiページの『安全にかかわる表示について』の説明を参照してください。

### 警告



#### 人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない

本機は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本機を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。



#### 自分で分解・修理・改造はしない

本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。本機が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。



#### バッテリーを取り外さない

テープブレードにはリチウムバッテリーが取り付けられています。(オプションデバイスの中にはさまざまなバッテリーを搭載したものがあります)。バッテリーを取り外さないでください。バッテリーは火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

また、バッテリーの寿命で本機が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店、または保守サービス会社に連絡してください。



#### 煙や異臭、異音がしたまま使用しない

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちにすべてのCPUブレードの電源をOFFにした後、ブレード収納ユニットの電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。



#### 針金や金属片を差し込まない

通気孔や光ディスクドライブのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。



#### 指定以外の場所で使用しない

テープブレードなどのデバイスは、専用の「ブレード収納ユニット」に搭載して使用します。ブレード収納ユニット以外の筐体(ケース)に取り付けて使用しないでください。火災や感電の原因となります。

**警告****腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない**

腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する環境に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。本機内部のプリント板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご相談ください。

**テープブレードを取り付けたまま取り扱わない**

テープブレードへのオプションの取り付け / 取り外しは、テープブレードの電源を OFF にして、テープブレードをブレード収納ユニットから抜いて行ってください。ブレード収納ユニットに接続したままテープブレードの部品に触ると感電するおそれがあります。

**複数のテープブレードを同時に取り付け / 取り外ししない**

テープブレードの取り付け / 取り外しは、1 枚単位で行ってください。複数のテープブレードを同時に取り付け / 取り外しをしたり、別のスロットのカバーを取り外したまま取り付け / 取り外しをすると感電するおそれがあります。

## ⚠ 注意



### 日本国外で使用しない

本機は、日本国内用として製造・販売しています。日本国外では使用できません。本機を日本国外で使用すると火災や感電の原因となります。



### 本機内に水や異物を入れない

本機内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源を OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。



### 中途半端に取り付けない

テープブレード、オプションボードは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。



### 指定以外のインタフェースケーブルを使用しない

インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。

また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- 破損したケーブルを使用しない。



### 高温注意

テープブレード上の部品やブレード収納ユニット内の部品が高温になっていることがあります。十分に冷めたことを確認してから取り付け / 取り外しを行ってください。また、電源ファンから排出される排気は高温になっています。排気口付近に顔や手を近づけないようにしてください。



### カートリッジ挿入口に手を入れない

カートリッジ挿入口に手を入れないでください。手を挟まれたり、巻き込まれたりしてけがをするおそれがあります。



### 雷がなったら触らない

雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて本機には触れないでください。また、機器の接続や取り外しも行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。



### ペットを近づけない

本機にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が本機内部に入ると火災や感電の原因となります。

## 取り扱い上のご注意 (本機を正しくお使いいただくために)

本機を正しく動作させるために次に示す注意事項をお守りください。これらの注意を無視した取り扱いをすると本機の誤動作や故障の原因となります。

データカートリッジの取り扱いに関する注意事項については、「データカートリッジ」の章を参照してください。



### 保守サービスについて

本機の保守に関して専門的な知識を持つ保守員による定期的な診断・保守サービスを用意しています。

本機をいつまでもよい状態でお使いになるためにも、保守サービス会社と定期保守サービスを契約されることをお勧めします。

### ● テープブレード

- ブレード収納ユニット(SIGMABLADE)に取り付けてください。
- 取り付け/取り外しは、1枚単位で行ってください。
- 取り付け/取り外しの際は、板金で覆われている部分を持ってください。また、運搬の際は、購入時に入っていた袋に入れ、包装箱に入れてから持ち運んでください。
- テープブレードは大変静電気に弱い電子部品です。本機の金属フレーム部分などに触れて身体の静電気を逃がしてからテープブレードを取り扱ってください。また、テープブレードの端子部分や部品を素手で触ったり、テープブレードを直接机の上に置いたりしないでください。
- 再度、運用する際、内蔵機器や本体を正しく動作させるためにも室温を保てる場所に保管することをお勧めします。

本機を保管する場合は、保管環境条件（温度：-10℃～55℃、湿度：20%～80%）を守って保管してください（ただし、結露しないこと）。

- テープブレードの電源は、接続したCPUブレードの電源に連動して自動的に制御されます。
- テープブレードは、急激な温度変化に弱い精密部品を使用しています。本機の移動後や保管後、再び運用する場合は、動作環境になじませてからお使いください。
- CPUブレードの電源ON操作は、POWERスイッチやリモートパワーオンのいずれの場合も、テープブレードへの電源供給開始後(テープブレードのPOWERランプがアンバー色に点灯後)、30秒以上経過してから行ってください。30秒以内に電源ON操作を行うと、テープブレードの電源がONにならない場合があります。この場合、CPUブレードの電源OFF操作後、30秒以上待ってから再度CPUブレードのPOWERスイッチにて電源ONを行ってください。
- テープブレードは、テープブレードの電源がOFFになったことを確認してから取り外してください。
- 本製品前面にあるReady LEDが等間隔で点滅しているときに本体装置の電源をOFFにしないでください。故障、およびバックアップデータの破損の原因となります。



- － 腐食性ガスの発生する場所、薬品類の近くや薬品類がかかるおそれのある場所に保管しないでください。部品が変形したり傷んだりして正常に動作しなくなるおそれがあります。
- － 強い振動の発生する場所に保管しないでください。故障の原因となります。
- － 本製品にセットするデータカートリッジには、当社製を使用してください。当社製以外のデータカートリッジを使用するとリード／ライトエラーを起こすことがあります。
- － 定期的にクリーニングを実施してください。クリーニングについては、「クリーニング」（59ページ）を参照してください。
- － 本製品のクリーニングには、添付のクリーニングカートリッジまたは当社製の「クリーニングカートリッジ（型番: EF-3237Q）」を使用してください。当社製以外のクリーニングカートリッジを使用すると故障の原因となることがあります。
- － カートリッジを入れたままでの移動はやめてください。衝撃が加わったとき、製品やカートリッジを傷める原因となります。

● **ブレード用メザニンカードおよびその他電子部品**

- － これらの製品は大変静電気に弱い電子部品です。本機の金属フレーム部分などに触れて身体の静電気を逃がしてから製品を取り扱ってください。また、製品の端子部分や部品を素手で触ったり、製品を直接机の上に置いたりしないでください。
- － オプションは、弊社が指定したオプション品であることを確認してください。指定外のオプション品は、たとえ本機に取り付け/接続できても正常に動作しないばかりか、本機本体が故障することがあります。弊社指定外のオプション品が原因となって起きた故障や破損については保証期間中でも有償修理となります。
- － 内蔵型のオプション機器は、急激な温度変化に弱い精密部品を使用しています。本機の移動後や保管後、再び運用する場合は、動作環境になじませてからお使いください。
- － 本機のそばでは携帯電話やPHS、ポケットベルの電源をOFFにしておいてください。電波による誤動作の原因となります。

## 内蔵LTOについて

本製品のセットアップから取り付け、日常の取り扱い方法について説明します。

### 使用できるカートリッジ

本製品には、当社製データカートリッジ（N型番、EF型番）をご使用ください。当社製以外のデータカートリッジを使用するとリード／ライトエラーの原因となる場合があります。本製品では、LTO1およびLTO2のカートリッジは使用できません。

#### 使用可能カートリッジ一覧

ドライブ			N8404-005 ＜本製品＞ (LTO5)
タイプ	型番	ネイティブ容量*1	
LTO5	N8152-31	1.5TByte	○
LTO4	N8152-12	800GByte	○
LTO4 WORM*2	N8152-25	800GByte	○
LTO3	N8152-06	400Gbyte	△
LTO3 WORM*2	N8152-24	400Gbyte	△
LTO2	N8152-05	200Gbyte	—
使用可能クリーニングカートリッジ			EF-3237Q

○：Write/Read可能    △：Readのみ可能    —：使用不可

\*1    圧縮にくいデータ、暗号化されたデータなどデータの種類によっては、圧縮機能によりネイティブ容量を下回る場合があります。

\*2    WORMについては、次項を参照ください。

## WORM（WRITE-ONCE READ-MANY）データカートリッジ

テープへの追加書き込みはできますが、書き込んだデータの変更・消去はできません。電子文書など重要なデータを変更されないよう保存するのに適しています。

なお、本カートリッジを使用するためには、バックアップソフトの制限があります。事前にご使用のバックアップソフトがWORMメディアに対応していることを確認してください。

## 暗号化機能    ～ENCRYPTION - CAPABLE～

本製品は独自の暗号化機能（Encryption-Capable）を有しています。本機能を使用するためには、バックアップソフトが本機能に対応している必要があります。事前にご使用のバックアップソフトが暗号化機能に対応していることを確認してください。

## 取り扱い上の注意事項

### 使用上のご注意

#### 使用する前

- 使用するデータカートリッジが、外的損害を受けていたり、または変形したり、曲がっているときは、使用しないでください。
- 本機の使用温湿度条件以外で保管されていたデータカートリッジを使用する場合は、使用温湿度条件以外にあった時間より長く（最大8時間）、使用環境に持ち込んでから使用してください。保管場所と使用場所の温度差が大きい場合は、一度に持ち込むのではなく、温度変化が1時間に10℃以下になるようにして、データカートリッジを使用場所の温度になじませてください。

#### 本機への装着

「データカートリッジのセット」での説明に従ってデータカートリッジをセットしてください。データカートリッジを取り出した後の保護ケースは、しっかりと閉じ、チリやホコリの少ない場所で保管してください。

#### 使用した後

使用済みのデータカートリッジは、必ず保護ケースに入れてチリやホコリの少ない場所で保管してください。置き方は水平、垂直どちらでもかまいません。

### 一般的注意事項

- テープに手を触れないでください。また、テープカバーを開閉しないでください。
- 磁気を発生するものを近づけないでください。
- 直射日光や暖房器具の近くには置かないでください。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 飲食や喫煙をしながらの取り扱いは避けてください。また、シンナーやアルコールなどを付着させないように注意してください。
- 本機へのデータカートリッジ挿入は、ていねいに行ってください。

## 使用禁止基準

以下の項目に該当する場合は、新しいデータカートリッジに取り替える必要があります。

- 落下させるなど強い衝撃を与え、データカートリッジが損傷を受けた場合。
- 清涼飲料、コーヒー、紅茶など液体、溶剤や金属粉、たばこの灰などで記録面が汚れている場合。



この状態でデータカートリッジを本機に挿入するとヘッドや本機を損傷したり、汚したりすることになり、本機の故障の原因となります。また、ヘッドの汚れやキズに気づかず、新しいデータカートリッジを本機に挿入すると、データカートリッジを汚したり、傷つけたりして被害を広げることになります。

## 寿命

データカートリッジは書き込み/読み込み等を行う度に消耗しています。消耗したカートリッジを使用し続けることはエラーの原因となるだけでなく、書き込んだデータの破損にいたる場合がありますので、長い間使用しているテープは交換してください。

### 寿命の目安

使用回数	260回
使用寿命	2年（一般事務所にて使用）
	5年（環境管理されたマシン室にて使用）
保管寿命	5年

\* 使用環境（温度・湿度・塵埃等）によって、目安より短くなることがあります。

データカートリッジの寿命管理として下記の手順を実施していただくことをお勧めします。

- 新しいデータカートリッジに管理番号を割り当て、その番号をデータカートリッジのラベルに記入しておきます。
- データカートリッジ管理台帳を作り、使用日を記録し、データカートリッジの使用年数と使用回数を見積もります。
- 定期的にデータカートリッジの管理台帳と標識ラベルを調べ、長く使用されていたり、書き込み、読み取りエラーが発生するなど信頼性が低いデータカートリッジを廃棄します。

また、テープ磁性層は、化学物質で構成されており、時間経過と共に劣化します。この劣化によるテープ寿命は、テープ保管の環境（温度・湿度）により大きく異なりますが、カートリッジを使用していない場合でもテープを購入してから約5年を目安に交換してください。

## 重要なデータの保存について

重要なデータまたはプログラムなどを保存する場合には、万一の場合に備えて、正副2巻に保存することをお勧めします。

また、保存するにはバックアップソフトのベリファイ機能を利用し、保存したデータの確認も行うことをお勧めします。ベリファイ機能の利用方法については、各バックアップソフトのユーザズガイドを参照してください。

こうしておけば、一方のテープがチリやホコリによるリードエラーを起こしても、もう一方のテープから復旧でき、大切なデータやプログラムの消失を防げます。

## データの3世代管理について

ディスク上のデータを保存する場合は、保存したデータの3世代管理をお勧めします。

3世代管理は、テープ3巻（A、B、C）を使用して、ディスク上のデータを1日目はテープAに保存し、2日目はテープBに、3日目はテープCに保存していくものです。

これにより、例えば一巻のテープCがリードエラーを起こした場合には、データBを使用してデータを復旧でき、また、テープBがリードエラーを起こした場合でもテープAのデータを使用して大切なデータを復旧することができます。

## データカートリッジの保管について

決められた保管条件を守り、保管場所を常に清潔に保ってください。

書き込みを禁止にしておくことをお勧めします。

長期間にわたって保管する場合は、常にバックアップデータが復旧可能であることを確認するため、定期的にデータの読み出しを行ってください。

万一の場合を想定してシステムから遠く離れた場所に保管しておくことをお勧めします。

正副2巻のデータカートリッジがある場合には、正、副それぞれを異なる場所に保管しておくとともに効果的です。

## バックアップと惨事復旧手順の制定

バックアップ方法を定めるときは、常に惨事復旧を想定したスケジュールを組んでください。バックアップ・リストアの正しい手順を制定することが、バックアップシステム運用の第一歩です。

惨事復旧の手順を確立し、正しく運用されることを定期的に確認してください。

## 健康を損なわないためのアドバイス

コンピュータ機器を長時間連続して使用すると、身体の一部に異常が起こることがあります。コンピュータを使用するときは、主に次の点に注意して身体に負担がかからないよう心掛けましょう。

### よい作業姿勢で

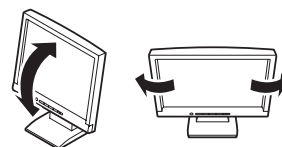
コンピュータを使用するときの基本的な姿勢は、背筋を伸ばして椅子にすわり、キーボードを両手と床がほぼ平行になるような高さに置き、視線が目の高さよりもやや下向きに画面に注がれているという姿勢です。『よい作業姿勢』とはこの基本的な姿勢をとったとき、身体の一部にも余分な力が入っていない、つまり緊張している筋肉がもっとも少ない姿勢のことです。

『悪い作業姿勢』たとえば背中を丸めたかっこうやディスプレイの画面に顔を近づけたままの状態で行うと、疲労の原因や視力低下の原因となることがあります。



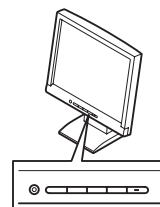
### ディスプレイの角度を調節する

ディスプレイの多くは上下、左右の角度調節ができるようになっています。まぶしい光が画面に映り込むのを防いだり、表示内容を見やすくしたりするためにディスプレイの角度を調節することは、たいへん重要です。角度調節をせずに見づらい角度のまま作業を行うと『よい作業姿勢』を保てなくなりすぐに疲労してしまいます。ご使用前にディスプレイを見やすいよう角度を調整してください。



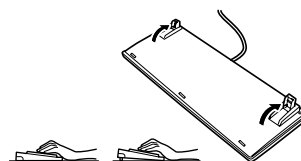
### 画面の明るさ・コントラストを調節する

ディスプレイは明るさ（ブライトネス）・コントラストを調節できる機能を持っています。年齢や個人差、まわりの明るさなどによって、画面の最適なブライトネス・コントラストは異なりますので、状況に応じて画面を見やすいように調節してください。画面が明るすぎたり、暗すぎたりすると目に悪影響をもたらします。



### キーボードの角度を調節する

オプションのキーボードには、角度を変えることができるよう設計されているものもあります。入力しやすいようにキーボードの角度を変えることは、肩や腕、指への負担を軽減するのにたいへん有効です。



### 機器の清掃をする

機器をきれいに保つことは、美観の面からだけでなく、機能や安全上の観点からも大切です。特にディスプレイの画面は、ほこりなどで汚れると、表示内容が見にくくなりますので定期的に清掃する必要があります。

### 疲れたら休む

疲れを感じたら手を休め、軽い体操をするなど、気分転換をはかることをお勧めします。



# はじめに

このたびは、NECのテープブレードをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。本製品は、CPUブレードと接続することにより、LTOとブレード用メザニンカード2枚の増設を可能とするIO拡張型ブレードです。

本製品の持つ機能を最大限に引き出すためにも、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、製品の取り扱いを十分にご理解ください。

## 本書について




本書は、本製品を正しくセットアップし、使用できるようにするための手引きです。セットアップを行うときや日常使用する上で、わからないことや具合の悪いことが起きたときは、取り扱い上の安全性を含めてご利用ください。

本書は常に本体のそばに置いていつでも見られるようにしてください。

本書は、WindowsやLinuxなどのオペレーティングシステムやキーボード、マウスといった一般的な入出力装置などの基本的な取り扱いについて十分な知識を持ったユーザーを対象として記載されています。

## 本文中の記号について

本書では巻頭で示した安全にかかわる注意記号の他に3種類の記号を使用しています。これらの記号と意味をご理解になり、本機を正しくお取り扱いください。

 重要	本機の取り扱いや、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。
 チェック	本機やソフトウェアを操作する上で確認をしておく必要がある点を示します。
 ヒント	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

# 本書の構成について

本書は4つの編から構成されています。それぞれの編では次のような説明が記載されています。なお、巻末には索引があります。必要に応じてご活用ください。



「使用上のご注意」をはじめをご覧ください

本編をお読みになる前に必ず本書の巻頭に記載されている「使用上のご注意」をお読みください。「使用上のご注意」では、本製品を安全に、正しくお使いになるために大切な注意事項が記載されています。

## 第1編 導入編

本製品を導入するにあたり知っておいていただきたい情報とお使いになられるまでのセットアップの手順について説明しています。ここで説明する内容や手順を守って正しく本機をお使いになるシステム環境へ導入してください。

## 第2編 ハードウェア編

本製品のハードウェアに関する説明をしています。各部の名称やその機能、設置にふさわしい場所に関する説明、オプションの増設方法について知りたいときに参照してください。

## 第3編 ソフトウェア編

本製品に添付のソフトウェアについてその機能や使用方法について説明しています。ここで説明する内容に従って正しくお使いください。

## 第4編 運用・保守編

本製品を運用する上で知っておいていただきたい情報が記載されています。また、「故障かな？」と思ったときは、本製品の故障を疑う前に参照してください。

ユーザーズガイドおよび添付のCD-ROMに収められているドキュメントは、以下のWebサイトからダウンロードすることができます。

<http://www.nec.co.jp/>

データの保存のしかたやデータの保存形式などの設定については、バックアップソフトに添付のユーザーズガイドを参照してください。



# 付属品の確認

梱包箱の中には、本体以外にいろいろな付属品が入っています。添付の構成チェックシートを参照してすべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。万一足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。



## 付属品について

- 添付品はセットアップをするときやオプションの増設、本機が故障したときに必要となりますので大切に保管してください。
- フロッピーディスクが添付されている場合は、フロッピーディスクのバックアップをとってください。また、添付のディスクをマスタディスクとして大切に保管し、バックアップディスクを使用してください。
- 添付のフロッピーディスクまたはCD-ROMは使用方法を誤るとお客様のシステム環境を変更してしまうおそれがあります。使用についてご不明な点がある場合は、無理な操作をせずにお買い求めの販売店、または保守サービス会社にお問い合わせください。

# 第三者への譲渡について

本体または、本体に添付されているものを第三者に譲渡（または売却）するときは、次の注意を守ってください。

- **本体について**

第三者へ譲渡（または売却）する場合には、本機に添付されている説明書一式や本書が格納されたCD-ROMを一緒にお渡しください。



## テープ内のデータについて

使用していたテープに保存されている大切なデータ（例えば経営情報や企業の経理情報など）が第三者へ漏洩することのないように、お客様の責任において確実に処分しておいてください。

このようなトラブルを回避するために使用しているバックアップソフトでデータを完全消去し、確実にデータを処分することを強くおすすめします。データの消去についての詳細はバックアップソフトのユーザーズガイドをご参照ください。

なお、データの処分をしないまま譲渡（または売却）し、大切なデータが漏洩された場合、その責任は負いかねます。

- **添付のソフトウェアについて**

添付のソフトウェアを第三者に譲渡（売却）する場合には、以下の条件を満たす必要があります。

- 添付されているすべてのものを譲渡し、譲渡した側は一切の複製物を保持しないこと
- 各ソフトウェアに添付されている『ソフトウェアのご使用条件』の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
- 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、インストールした本機から削除した後、譲渡すること

# 消耗品・本機のリサイクルと廃棄について

- 本体の部品の中には、寿命により交換が必要なものがあります。製品を安定して稼働させるために、これらの部品を定期的に交換することをお勧めします。交換や寿命については、お買い求めの販売店、または保守サービス会社にご連絡ください。



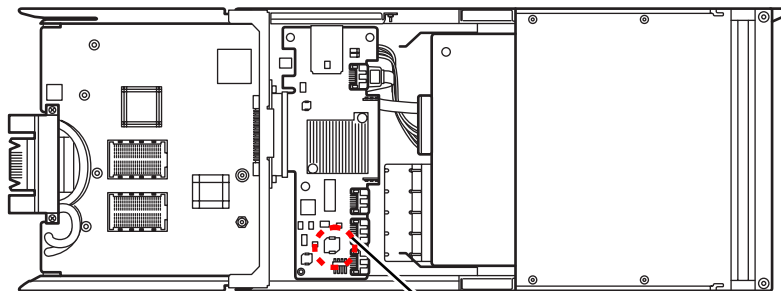
廃棄するカートリッジ内のデータを第三者によって不正流用および二次使用されないよう、確実に処分してから廃棄してください。



## リチウムバッテリーを取り外さない

本機内部にはリチウムバッテリーが取り付けられています。バッテリーを取り外さないでください。バッテリーは火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

その他、オプションボードに搭載されているバッテリーの位置についてはオプションボードに添付の説明書を参照してください。



リチウムバッテリー  
(SASコントローラの下に搭載)

- CPUブレード、テープブレード、ハードディスクドライブ、CD-ROM、オプションのブレード収納ユニットやボードなどの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。なお、製品添付の電源ケーブルにつきましても、他製品への転用を防ぐため、本体と一緒に廃棄してください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。

# 製品寿命について

本製品の製品寿命は5年です。

# 本機の輸送について

本体およびオプションなどには、リチウム金属電池およびリチウムイオン電池を使用しています。リチウム電池の輸送に関しては、航空・海上輸送規制が適用されますので、本体およびオプションの航空機、船舶等での輸送については、お買い求めの販売店、または保守サービス会社へお問い合わせください。

# 目次

使用上のご注意(必ずお読みください).....	iii
安全にかかわる表示について.....	iii
本書と警告ラベルで使用する記号とその内容.....	iv
安全上のご注意.....	v
取り扱い上のご注意（本機を正しくお使いいただくために）.....	viii
内蔵LTOについて.....	x
WORM（WRITE-ONCE READ-MANY）データカートリッジ.....	x
暗号化機能 ～ENCRYPTION - CAPABLE～.....	x
取り扱い上の注意事項.....	xi
使用禁止基準.....	xi
寿命.....	xii
重要なデータの保存について.....	xii
データの3世代管理について.....	xii
データカートリッジの保管について.....	xiii
バックアップと惨事復旧手順の制定.....	xiii
健康を損なわないためのアドバイス.....	xiv
はじめに.....	xv
本書について.....	xv
本文中の記号について.....	xv
本書の構成について.....	xvi
付属品の確認.....	xvii
第三者への譲渡について.....	xviii
消耗品・本機のリサイクルと廃棄について.....	xix
製品寿命について.....	xx
本機の輸送について.....	xxi
目次.....	xxii

## 1 導入編

特長.....	2
ブレードサーバとは.....	3
システム管理について.....	4
導入にあたって.....	5
システム構築のポイント.....	5
システムの構築・運用にあたっての留意点.....	6
お客様登録.....	8
セットアップを始める前に.....	9
ハードウェアのセットアップ.....	9
オペレーティングシステムのセットアップ.....	9
デバイスドライバ(本体標準装備)のセットアップ.....	10
チームのセットアップ.....	11
WOLのセットアップ.....	11
受信側スケーリングのセットアップ.....	11
スケーラブルネットワークパック（SNP）のセットアップ.....	13

ネットワークモニタのインストール .....	15
システムのアップデート .....	17
システム情報のバックアップ .....	18

## 2 ハードウェア編

各部の名称と機能 .....	20
本機前面 .....	20
本機内部 .....	21
本機外観 .....	22
データカートリッジについて .....	23
データカートリッジの各部の名称 .....	23
ラベル .....	23
ライトプロテクト .....	24
ランプ表示 .....	25
テープブレード .....	25
LTOドライブのランプ .....	27
ハードウェアのセットアップ .....	29
テープブレードの取り付けの前に .....	29
MACアドレスの確認 .....	29
テープブレードの取り付け .....	30
テープブレード搭載ルール .....	31
SIGMABLADE-H .....	31
SIGMABLADE-M .....	31
ブレード収納ユニットへの搭載手順 .....	32
取り付け .....	32
取り外し .....	34
基本的な操作 .....	35
電源のON .....	35
電源のOFF .....	35
デバイスの確認 .....	36
内蔵オプションの取り付け .....	37
安全上の注意 .....	37
静電気対策について .....	38
取り付け/取り外し後の確認 .....	39
取り付け/取り外しの準備 .....	39
ブレード用メザニンカード .....	40
データカートリッジ .....	44
データカートリッジのセット .....	44
データカートリッジの取り出し .....	45
データのリード/ライト .....	46
SASコントローラ .....	47
SASコントローラの設定 .....	47
Windows用ドライバのインストール .....	47
Linux用ドライバのインストール .....	49
SAS BIOS - LSI Corp Config Utility - .....	50
ユーティリティの用途 .....	50
ユーティリティの起動 .....	50
ユーティリティの終了 .....	51
ユーティリティの設定 .....	51

## 3 ソフトウェア編

テープデバイスドライバ .....	54
インストール .....	54
バックアップソフト使用のご注意 .....	56

## 4 運用・保守編

日常の保守 .....	58
アラートの確認 .....	58
ステータスランプの確認 .....	58
クリーニング .....	59
リード/ライトヘッドのクリーニング .....	59
本体のクリーニング .....	59
バックアップ .....	60
システム診断 .....	61
システム診断の内容 .....	61
システム診断の起動と終了 .....	61
障害時の対処 .....	62
障害箇所の切り分け .....	62
エラーメッセージ .....	63
POST中のエラーメッセージ .....	63
ランプによるエラーメッセージ .....	64
Windowsのエラーメッセージ .....	64
サーバ管理アプリケーションからのエラーメッセージ .....	64
仮想LCD上のエラーメッセージ .....	65
トラブルシューティング .....	67
テープブレードについて .....	67
SASコントローラについて .....	79
ESMPROについて .....	79
障害情報の採取 .....	80
保守ツール .....	81
保守ツールの機能 .....	81
移動と保管 .....	82
ユーザーサポート .....	84
保証について .....	84
バッテリーの保証について .....	85
修理に出される前に .....	85
修理に出される時は .....	86
補修用部品について .....	86
保守サービスについて .....	86
情報サービスについて .....	87
付録A 仕様 .....	89
付録B 保守サービス会社網一覧 .....	90
索引 .....	95